

平成 25 年度 糸魚川市教育研究会 音楽部 活動報告

- ◆部長 井澤 和秀 (田沢小) ◆副部長 小川 敦子 (青海中) 上田 正子 (青海小)
- ◆推進委員 今井 沙織 (糸魚川中) 猪又 小百合 (能生中) 炭谷 希基 (糸魚川東小)
- ◆部員数 小学校 17 名 中学校 4 名 特別支援学校 5 名 計 26 名

1 研究主題

- 糸魚川市児童生徒の実態及び地域の実態に立った教育課題を明確にしながらか研究を推進する。
- 新学習指導要領の完全実施に対応した音楽教育の振興を図る。

2 研究の概要

- (1) 会員の指導力の向上を図る研修 (実技研修会及び授業研究会) の実施
- (2) 糸魚川市児童生徒音楽発表会を開催することによる表現力、鑑賞力の向上

3 研究の実際

(1) 音楽科指導力向上実技研修会

- ①期 日 9 月 26 日 (木) 13:30~16:40 糸魚川中学校音楽室
- ②講 師 作曲家 黒澤 吉徳 氏
- ③内 容 教科書教材をつかった歌唱などの実技研修
- ④参加者 15 名

- ・講師は東京藝術大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。小学生から高校生向けの合唱曲を多数作曲し、教科書掲載の作品も多い。当日は、小学校 1 年生から 6 年生、中学校 1, 2 年生の教科書から 1 曲ずつを選び、曲のポイントや歌い方、児童生徒への助言や指導過程などについて分かりやすく教えていただいた。教科書の曲が、こんなに生き生きとした表情をもっていることを改めて実感するとともに小中学校を通した楽曲の理解を深めた。

(2) 授業研究会

- ①期日 12 月 10 日 (火) ②会場 糸魚川市立青海中学校 ③参加者 18 名
- ④授業者 青海中学校 小川敦子 教諭 ⑤題材「言葉のリズムを生かして旋律をつくろう」
- ⑥研究主題 音楽のよさを感じ、伝え、かかわり合いながら学び、考える授業を展開する。
- ⑦指導者 上越教育事務所指導主事 渡辺由紀 様

- ・新学習指導要領の趣旨を生かした授業づくりと創作活動をテーマにして中学校 1 年生の授業を参観し研修を行った。
- ・糸魚川市の標語「早寝早起きおいしい朝ごはん」をサウンドロゴとして創作させる授業であった。生徒は言葉の持つリズムや抑揚を考えながら旋律やリズムづくりに取り組んでいた。



(3) 糸魚川市小中学校音楽発表会

- ①能生地域音楽発表会 11 月 1 日 (金) 能生マリンホール
- ②糸魚川地域音楽発表会 11 月 7 日 (木) ビーチホールまがたま
- ③青海地域音楽発表会 11 月 8 日 (金) きらら青海

- ・各校 15 分程度の時間で、学年の合唱や合奏、吹奏楽部や合唱部の成果を発表した。どの学校・部活もレベルが高く、保護者等の来客も多かったことから充実した発表会になった。
- ・音楽部員の運営、講評等もスムーズに行われた。本年度は糸魚川市民会館が大規模改修で使用できないことから糸魚川地域はビーチホールまがたまで 1 日日程で行った。

4 成果と課題

- ・「指導力向上実技研修会」や「授業研究会」によって、音楽の楽しさや指導技術等を学ぶことができ有意義であった。
- ・音楽発表会を 3 地域に分けて行っている。能生は 6 校、青海は 4 校しか学校がなく鑑賞の幅が広がらない。本来は、一堂に会して市内 22 校の発表を鑑賞し合う機会としたいが、地域的な問題があり実現が困難である。